

狭山茶産地でICTを活用した広域実証実験を開始

— 新たな広域通信規格を活用した日本初の茶園管理モデルの構築 —

入間市、埼玉県茶業研究所、NTT 東日本埼玉西支店は、デジタル技術を活用した新たな茶園管理の実証に取り組んでいます。

新たな広域通信規格「11ah※」の利用が可能となったことから、関東以北最大規模である金子台の茶園において、埼玉県茶業研究所及び東日本電信電話株式会社埼玉西支店と協力し、茶園管理モデルの構築を目指した広域での実証実験を開始します。

※920MHz 帯を利用する IEEE 標準規格で「従来の Wi-Fi に比べ伝送距離が拡大」「数 Mbps のスループットの可能性を有する」等の特徴を持つ Wi-Fi 規格。

1. 背景と目的

令和4年9月に、11ahの利用が可能となったことから、11ahを用い、より広域かつ高速なネットワーク環境において、画像及びデータ取得等を目的とした実証実験を入間市、埼玉県茶業研究所、NTT 東日本埼玉西支店と協力して実施します。

2. 実証実験の概要

- ・埼玉県茶業研究所の屋上に11ahのアクセスポイントを設置し、埼玉県茶業研究所と入間市の圃場に設置したIoTセンサー、カメラによりデータを取得
(主な取得データ)
- ・温湿度 ・日射量 ・土壌水分 ・土壌EC ・風速風向 ・画像(静止画・動画)等
- ・取得したデータから茶農家が必要とする情報を埼玉県茶業研究所のLINEアプリを用いて共有
- ・茶業のスマート農業化において有用と思われるデバイスを選定し、11ahにおける制御および動作を検証

3. 役割分担

入間市： 共同実験の場所の提供、情報配信に関する茶農家への参画勧奨

埼玉県茶業研究所： 共同実験の場所の提供、各種データ取得およびデータの分析

NTT 東日本： 通信回線・設備の提供、遠隔地でのモニタリング環境の構築

4. 今後の取り組みについて

本実証実験により得られた知見をもとに、効果や課題を抽出し、狭山茶栽培のスマート農業化に資する取り組みを進めてまいります。

■問い合わせ

入間市役所 04-2964-1111 農業振興課 吉野・新 (内線 4232)
未来共創推進室 山本・村山 (内線 3120)